

# 「話す」活動

## ポイント

- ・指導者(学級担任)が積極的に英語を使う。
- ・児童が既習表現を繰り返し使いながら、やり取りを大切に活動を設定する。
- ・児童自身が伝えたいように工夫する。

(小学校外国語活動・外国語科 研修ガイドブックを参考に作成)



## ○インタビュー

- ・先生にインタビュー  
学級担任以外の先生にインタビューする活動。
- ・好きな教科インタビュー  
児童は、事前に自分の「夢の時間割」を作り、友だちと「夢の時間割」について尋ね合う活動。
- ・外国人にインタビュー  
修学旅行や校外学習先で、外国人に英語でインタビューする活動。事前に外国人に聞きたいと思う質問を考えて、旅行先で実際にインタビューする。



- ・自分自身のことを伝え合う。
- ・目的をもって伝え合う。

## ○紹介・案内

- ・自分の住んでいる町や地域の紹介

(例)  
○○ is nice.  
We have a bread shop.  
We don't have an aquarium.  
I like dolphins.  
So I want an aquarium.

- ・夏休みの思い出を伝え合う

(例)  
I went to the festival.  
I ate sausage.  
It was delicious.  
I enjoyed playing bingo.  
It was fun.

- ・自分の好きな有名人の紹介

(例)  
This is Osaka Naomi.  
She can speak English.  
She is good at playing tennis.

## ○クイズ

- ・バックカードクイズ  
自分の背中に(自分に見えないように)単語が書かれたカードを貼り、そのカードが何かを友達に質問し、ヒントをもらいながら当てるクイズ。
- ・場所あてクイズ  
道だけ書かれたワークシートに場所のカードを置き、1人の児童が道案内をし、他の児童はその道案内通りたどったら、どの場所(施設)に到着したかを当てるクイズ。
- ・人物(もの)あてクイズ  
ヒントを基に、その人(もの等)が誰なのか(何なのか)を当てるクイズ。



## ○その他の事例

- ・お店屋さんごっこ  
事前に自分のペアの児童に「好きな食べ物」についてインタビューし、その児童の好みに合ったメニューになるよう、お店に買いに行く活動。
- ・バースデーカードやグリーティングカード等を渡し合う  
指導者は児童が作ったバースデーカードの裏に、クラスの誰かの誕生日を書いておく。児童は、自分の作ったカードの裏に書いてある誕生日の人を見つけるために英語で尋ね合い、見つかったら、そのカードを渡す活動。

S1: Hi!  
S2: Hi!  
S1: When is your birthday?  
S2: My birthday is ~. When is your birthday?  
S1: My birthday is ~.  
(見つかったら、そのカードを渡す)

# 「聞く」活動

## ポイント

- ・児童自身が聞きたくなるような場面を設定する。
- ・繰り返し聞き、内容を推測できるようにする。
- ・児童が少しでも聞き取れたことを評価する。

(小学校外国語活動・外国語科 研修ガイドブックを参考に作成)



## ○クイズ・ゲーム

### ・おはじきゲーム

2人で1枚のワークシートを使い、ワークシートに描かれた動作の絵の上に、それぞれ1個ずつおはじきを置く。そして、ALTまたはJTEが言う動作を聞いて、当てはまる絵の上のおはじきをとるゲーム。

### ・単語カルタ

アルファベットや単語の定着を図るときに行うゲーム。児童の実態に応じて方法を定める。



(方法例)

- ①イラストのみのカードを取る
- ②イラストと単語が書かれたカードを取る
- ③単語のみのカードを取る

### ・スリーヒントクイズ

ヒントを3つだけ出して、そこから紹介しているもの(人)を当てるクイズ。

(例) 教科、人物、動物、果物など



### ・ポインティングゲーム

言われた単語に合う絵を選び、その絵を指などでタッチするゲーム。ペアやグループで行い、早くタッチできた人が勝ち。



### ・キーワードゲーム

事前にキーワードを児童に伝え、そのキーワードを言ったら消しゴム等の駒を取る。ペアやグループで行い、早く駒を取った人が勝ち。



### ・ステレオゲーム

数人の子どもが前に立って、1人ずつが違う単語を一齐に言う。他の子どもは、それらを聞き取って、誰が何を言ったかを当てるゲーム。短文でも可能。



### ・カード・デスティニーゲーム

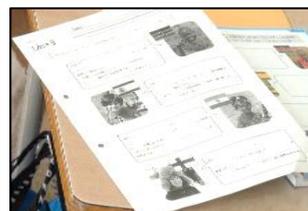
ペア対抗で行う。動作・食べ物・感想絵カード(単語付き)を分けて、それぞれの机の上に並べる。指導者が言う英文を聞いて、それに関連するカードを持っている人がそのカードを出しながら、後に文を続ける。先に全てのカードがなくなったペアが勝ちというゲーム。

活動の目的を示し、楽しみながら活動できるようにする。

## ○デジタル教材や ALT または JTE の話を聞く活動の工夫

### ・ワークシート

デジタル教材等で流す音声(映像)の日本語訳が書かれたワークシートを準備。その際、この音声の中でポイントとなる部分を空欄にし、児童がその空欄の部分聞き取り、記入できるようにする。



### ・音声(映像)を聞く(見る)前に聞き取ってほしいポイントを児童に伝える

あらかじめ、流す音声の概要を日本語で児童に説明した後、聞き取ってほしいポイント等を児童に伝える。(板書したり、口頭で伝えたりする等、児童の実態に応じて方法は考える)

# 「書く」活動

## ポイント

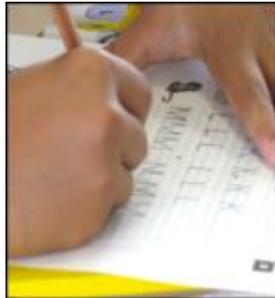
- ・児童が、音声で慣れ親しんだ単語が読めるようになったら、4線上でなぞったり書き写したりできるようにする。
- ・児童が文字を書きたくなるような場面を設定し、文字を書く活動に意欲的に取り組めるようにする。

(小学校外国語活動・外国語科 研修ガイドブックを参考に作成)



## ○アルファベット練習

児童の実態に応じて、字数を決めて練習をする。その時、そのアルファベットで始まる単語を書く練習等も加えるとよい。



## ○インタビュー活動前とクイズの時の原稿づくり

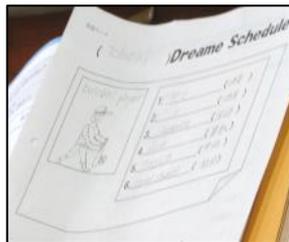
- ・先生にインタビュー

インタビューする前に、先生に質問したい内容を考え、ワークシートに記入し、そこにインタビューで聞いた質問の答えを英語で記入する。また、インタビューで聞いた内容をクイズにするための原稿づくりを行う。

## ○その他の事例

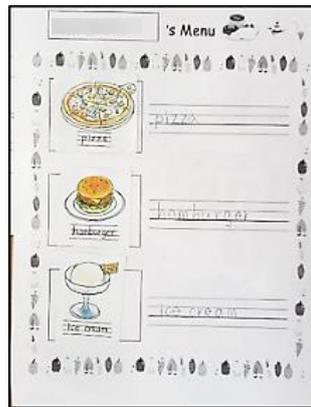
- ・夢の時間割

自分の将来つきたい職業や理想等、テーマに合った時間割を考え、その時間割をワークシートに記入する。



- ・オリジナルメニューづくり

ペアの相手の好みに合ったメニューをつくるために、「お店屋さんごっこ」でやり取りをする。購入した飲食物の絵が描かれたカードをワークシートにある台紙に貼り、ワークシートにその単語を書く。



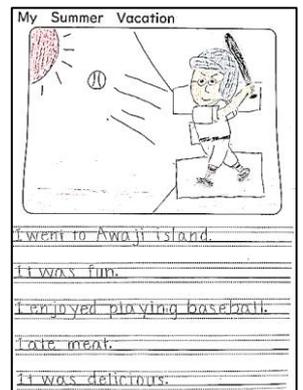
## ○紹介

- ・自分の町の紹介ポスター  
自分の町の紹介ポスターを作成する。4～5文程度の英文をポスターに記入する。

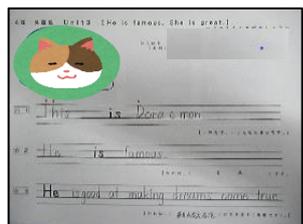


- ・夏休みの思い出日記 (アルバム)

自分の夏休みの思い出日記を作成する。4～5文程度の英文を日記に記入する。



- ・好きなキャラクターや人物の紹介文  
好きなキャラクターや人物の紹介文を作成する。3文程度の文を書く。



少しずつ段階を踏んで、目的意識をもって書けるようにする。

# Small Talk

## ポイント

- あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで気持ちを伝え合ったりできるようにする。
- 既習表現をくり返し使い、その定着を図る。
- 対話を続けるための基本的な表現の定着を図る。

(小学校外国語活動・外国語科 研修ガイドブックを参考に作成)



### ○児童と ALT の会話 (“Can”の表現を使って)



S: Can you ~ ?  
A: Yes, I can. I can ~ .  
(No, I can't. I can't ~ .)

### ○指導者(学級担任)と児童の会話



自分自身に関する出来事や気持ち等について、やり取りする。

T: Hello, I'm (名前). (名前のつづり), (名前). What 's your name?  
S: Hello, I'm (名前). (名前のつづり).  
T: Nice to meet you, ~.  
S: Nice to meet you ,too.  
T: How are you?  
S: I'm (調子), thank you. And you?  
T: I'm (調子), thank you. Can you ~ ?  
S: Yes, I can. I can ~.(No, I can't. I can't~.)  
T: That's great!  
S: Can you ~ ?  
T: Yes, I can. I can ~. (No, I can't. I can't~.)  
How about you?  
S: Yes, I can. I can ~. (No, I can't. I can't~.)  
T: Oh, I see. Thank you.  
S: You're welcome.

### ○単元の最終活動を示した会話



H: Hello. What would you like?  
A: Hello. I'd like miso-ramen, please.  
H: Miso-ramen. OK. Just a minute.  
(作っているジェスチャーを入れる)  
(ラーメンを差し出して) Here you are.  
A: Thank you. How much is it?  
H: 500 yen, please.  
A: (お金を差し出して) Here you are.  
H: Thank you. Good bye.  
A: Bye.

### ○既習表現の定着を図る児童同士の会話



なぜそう思ったのかを尋ね、その理由を聞いたり答えたりする。

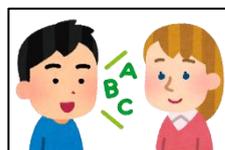
S1: Hello, I'm (S1 の名前). (S1 の名前の綴り), (S1 の名前).  
What's your name?  
S2: Hello, I'm (S2 の名前). (S2 の名前の綴り).  
S1: Nice to meet you, ~.  
S2: Nice to meet you ,too.  
S1: How are you?  
S2: I'm (調子), thank you. And you?  
S1: I'm (調子), thank you.  
Did you enjoy your summer vacation?  
S2: Yes.  
S1: Why?  
S2: I went to (saw, ate, enjoyed 等) ~.  
S1: Oh, that's nice!  
S2: How about you?  
S1: Yes. I went to (saw, ate, enjoyed 等)~.  
Thank you.  
S2: You're welcome.

### ○今朝の朝食についての会話



S1: I ate curry and rice.  
S2: That's nice.  
I ate soba.  
S1: That's good.

### ○夏休みについての会話



S1: I went to the pool.  
I enjoyed swimming.  
S2: That's nice.  
I went to the sea.  
I enjoyed fishing.  
S1: That's great.

# 「読む」活動

## ポイント

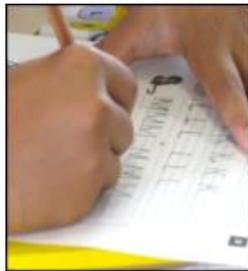
- ・児童が「聞く」活動「話す」活動の中で文字にふれることができるようにする。
- ・絵カードに文字を添えたり、使う表現を文字で提示したりしながら、その文字を見ながら「読む」活動を行う。

(小学校外国語活動・外国語科 研修ガイドブックを参考に作成)



## ○アルファベット

デジタル教材にある Chant の音声と一緒に発音し、発音したアルファベットの文字を指で押さえる。



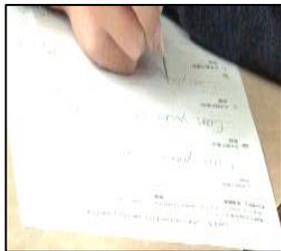
## ○単語カルタ

発音された単語(イラスト付き)が書かれたカードを読んでとる。



## ○インタビュー活動 前とクイズの時の 原稿づくり

- ・先生にインタビュー  
考えた質問をワークシートに書き、それを読みながらインタビューをする。



## ○その他の事例

- ・ワードオーダーゲーム

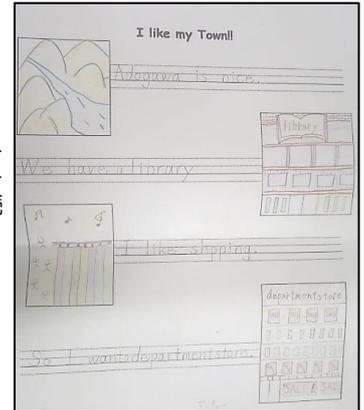
ペアまたはグループのうちの一人が単語カードを使って、語順を意識しながらカードを並べ、英文が完成したら、声に出して読み、もう一人がチェックする。

	This	is	Akashiya Samma
Akashiya Samma	He	is	famous
famous	He	is good at	talking
talking			

## ○紹介

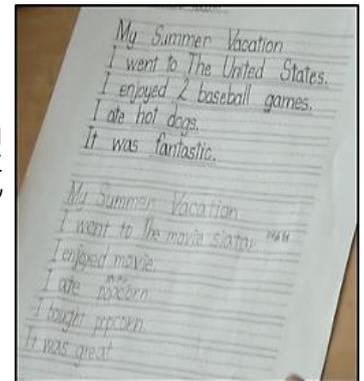
- ・自分の町の紹介  
ポスター

自分の町の紹介ポスターを作成し、そのポスターに書かれている英文を読んで紹介する。



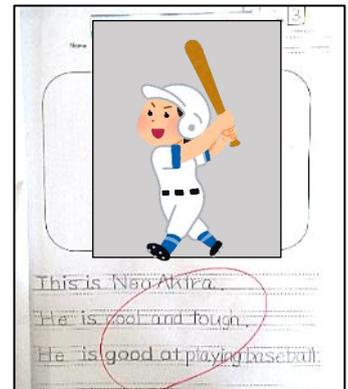
- ・夏休みの思い出日記  
(アルバム)

自分の夏休みの思い出日記を作成し、その日記に書かれている英文を読んで紹介する。



- ・好きなキャラクター  
や人物の紹介文

好きなキャラクターや人物の紹介文を作成し、そのワークシートに書かれている英文を読んで紹介する。  
また、紹介文を教室に掲示し、友達の紹介文を読む。



音声で十分慣れ親しんだ後、「読む」活動に少しずつ取り組む。